

2014年3月1日 15-19時

第39回 SED 実践セミナー(セデーショントレーニングコース)

@大阪医科大学 MSSC 報告書

①開催形態

開催施設責任者：林 道廣(大阪医科大学附属病院医療技能シミュレーション室)

開催協力部門：医療安全管理室、医療プロフェッショナル支援室

開催講座責任者：南敏明(大阪医科大学麻酔科学教室)

②インストラクター

コースコーディネーター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

インストラクター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

藤原俊介 大阪医科大学麻酔科学教室 医療プロフェッショナル支援室

岡田大輔 みどりヶ丘病院麻酔科

田中源重 第一東和会病院麻酔科

上嶋浩順 埼玉医科大学国際医療センター麻酔科

アシスタント

大地史広 大阪医科大学病院集中治療室

③参加者 24 名

学内 12 名

初期臨床研修医 2 名(1 年次 1 名、2 年次1名)

手術室看護師 10 名

学外参加 12 名

名古屋市立東部医療センター手術室

田川新生病院

岩月歯科医院

八千代病院 総合内科

津軽保険生活協同組合健生病院

札幌東徳洲会病院麻酔科

市立十三市民病院

エバーグリーン病院

帝京大学ちば総合医療センター

④コース内容と学習目標

	学習目標
講義	米国麻酔科学会「非麻酔科医のための鎮静鎮痛ガイドライン」の解説を重視 受講前にテキストを送付し、事前学習の推奨
カードを用いた シミュレーション	鎮静薬と鎮痛薬の分類、相互作用の把握
マネキンを用いた 緊急時気道管理ハンズオン	呼吸状態の評価を意識づけ(呼吸パターン、回数、SpO ₂ 等)、酸素投与法、基本的気道管理(バッグバルブマスク、ラリンジアルマスクを始めとした声門上器具)の習得
シナリオディスカッション	術前リスク把握、準備、必要なモニタリング、投与時の評価等、緊急時対応を質問し、知識の再確認や整理
シミュレーション環境を用いた シナリオトレーニング	臨床での実践対応に関してシミュレーターを用いて習得

⑤開催風景

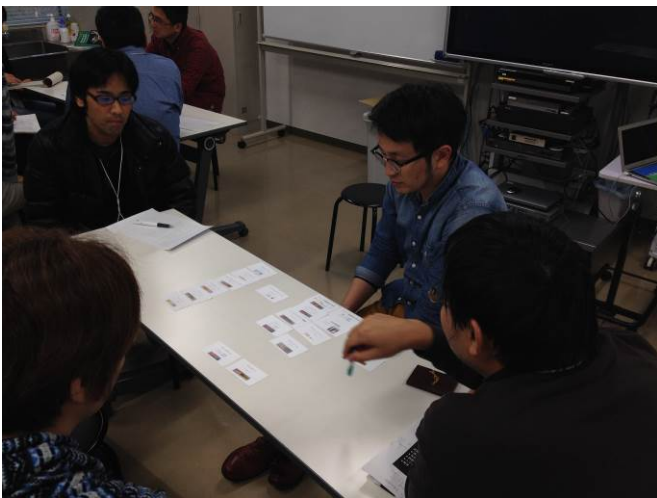
講義

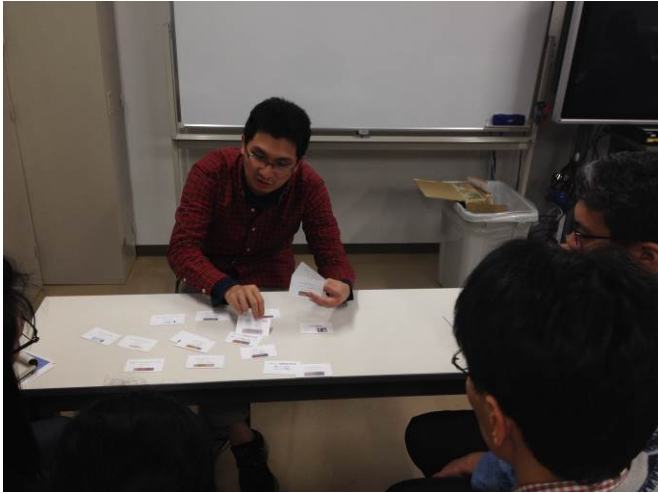


気道管理ハンズオン

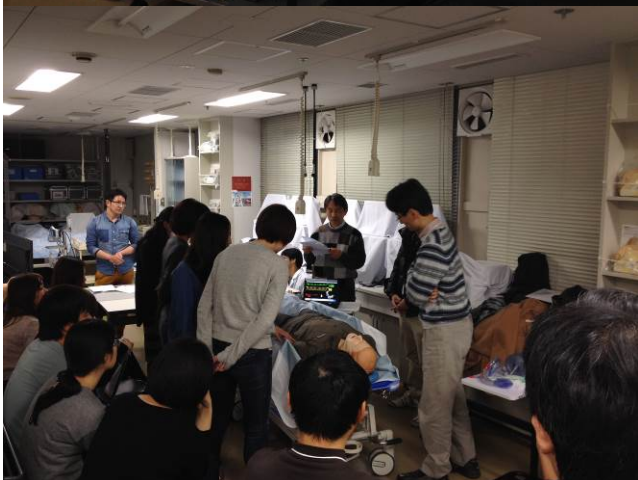
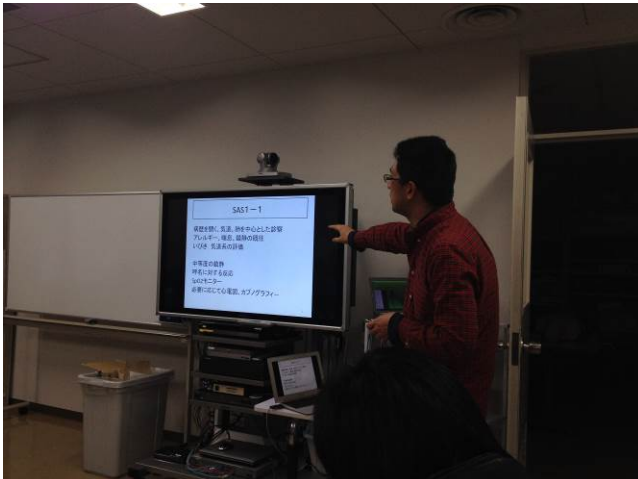


カードシミュレーション





シナリオトレーニング



全体集合写真



⑤今後の取り組み

今年度は学内で 5 回の開催を行い数多くの医師、看護師、医学生までもが参加された。次年度以降も院内における鎮静の医療安全向上のために SED 実践セミナーを継続開催したい。

院内では全ての手術室看護師が受講でき、手術室での医療安全向上が望まれる。